

2025年9月期 決算説明会 主な質疑応答（要旨）

開催日：2025年11月21日

Q：第2四半期の時点で、売上高・営業利益ともに2025年度の通期予想に対する進捗率が50％に達していないが、通期予想の達成は可能か。

A：当社は建設事業を基盤とするグループ体制の特性上、売上・利益が下期に集中する傾向がある。
第2四半期断面の計画値は開示していないが、業績はほぼ計画通りに推移しており、通期予想の達成は充分可能と考えている。

Q：建設セグメントの繰越高は比較的豊富な状況にあると拝見したが、さらに受注を増やすことは可能か。

A：繰越高は高水準で推移しており、引き続き採算重視の選別受注を徹底しつつ受注量の維持に務めていく。

2025年9月期 決算説明会 主な質疑応答（要旨）

開催日：2025年11月21日

Q：中核企業である飛島建設の同業他社と比較した特色は何か。

A：飛島の特色は大きく2つある。

1. 土木事業で創業したという経緯から、他のゼネコンと比べて土木事業の割合が高い点（6割強）が特色である。
2. 当社は土木事業で創業し、長い歴史の中でゼネコン化、ホールディングス化へと事業領域や形態を進化させてきた。長い社歴で培った技術力や信頼に加え、経営環境の変化に適応できるイノベーション力やコーディネート力を源泉とする柔軟性が当社の強みである。

Q：IR・SR面談を10回開催したとのことだが、面談を踏まえて、今後の情報開示の方針にアップデートはあるか。

A：IR・SR面談を通じていただいたご意見を踏まえ、改善できる点は積極的に対応している。

直近では、

- ・株主総会招集通知におけるスキルマトリックスの更新
- ・統合報告書2025における開示内容の充実

を実施した。

今後も面談を通じた対話を継続し、更なる情報開示の充実を目指していく。